

平成21年度 茅渚関西連合 「定時総会」 報告書

1. 日時・・・・・・平成21年12月13日（日） PM0：00～PM4：00

2. 会場・・・・・・鶴町第2集会所（大阪市大正区）

3. 出席クラブ・・・・・・13クラブ、22名（順不同・敬称略）

	クラブ名	出席者		クラブ名	出席者
1	大阪1091倶楽部	東、榎本	13	TEN-CLUB	渡部
2	関西茅渚会	森川	14	都友会	
3	黒夢会	休会中	15	南茅会	武
4	神戸七防・黒鯛人	長田、平田	16	波止友会	永野
5	泉州TFC		17	爆茅会	
6	茅聖会	林、安川	18	V.F.C	休会中
7	茅友会	平田	19	北友会	鳥羽、岸田
8	茅陽会		20	北港銀楽会	22年度休会
9	潮友会	畑、沖、櫻井、 倉田	21	遊目印塾	
10	TEAM TOPGUN		22	落南会	斉藤
11	Team 波止歩° っ歩°	休会中	23	落遊FC	木村、吉上
12	TEAM FREENINE	酒井、笠井	24	落陽会	22年度より脱会

4. 欠席クラブ・・・・・・10クラブ

5. 報告

- ① 平成21年度 事業報告・・・・・・別紙「事業報告書」
- ② 平成21年度 会計報告・・・・・・別紙「収支報告書」
- ③ 「チヌの稚魚放流募金」の集計・・・・・・¥84,343
 （内訳） ¥13,458・・・・・・ 「黒鯛人大会」
 ¥5,437・・・・・・ 「前打ち大会」
 ¥3,547・・・・・・ 「本大会」
 ¥14,636・・・・・・ 「交流会」
 ¥1,881・・・・・・ 「丸高大会」
 ¥20,000・・・・・・ 「たまや渡船」
 ¥25,384・・・・・・ 「クラブ選手権」（東京黒友会）

6. 会計（武）からの連絡

- ① 22年度の年会費納付期日は、本大会当日、8/8（日）までとする。
- ② 6月末までに年会費未納クラブに対して、会計は書面にて郵送連絡する。

本年度の年会費は、翌年に繰り越さず、必ず本年度中に納付する。

7. 「大釣り協」 出向役員（長田）からの報告・・・別紙「事業報告書」

8. 各クラブからの報告、連絡

- ① 潮友会・・・「潮友会設立 20 周年 謝恩大会」の開催
- ② 落陽会（報告後退席）・・・平成 22 年度より脱会

9. 役員選出・・・別紙「組織形態図」

※ 後日、個別に代表と話し合いがもたれ、若干変更となっています。

10. 事業計画・・・別紙「大会、行事予定スケジュール」

- ① 本大会・・・チーム戦（参加者による抽選でチームを作成）とする
- ② 「フィッシングショー」参加予定者（8 時 30 分集合）
（土・6 名） 長田、黒鯛人・平田、倉田、森川、永野、林
（日・7 名） 武、畑、櫻井、沖、榎本、酒井、笠井
※ エビの調達（たまや渡船、丸高渡船に依頼）

- ③ 大会以外の他の行事・・・個別に連絡し、協力を要請する。

11. 予算計画

- ① 「名簿」作成・・・印刷費削減のためメール送信とする。郵送希望のクラブには郵送する。
- ② 繰越金はプールしておく。

12. 「北港での釣り人転落死亡事故」の裁判（第 1 審）の結果

※ 原告の訴訟を「棄却」。被告側（大阪府、大阪市、たまや渡船）の勝訴。その後、原告は控訴。

13. 「第 1 回釣り関係者会議」の開催・・・「港湾局・緑地公園課」との会議

※ 先の「立禁問題」で地波止が多く締め出されたが、緑地整備場所、公園整備場所は釣り場として将来、開放してもらうための会議がスタートした。近々、この問題をテーマにした「パブリックコメント」が開設されるので、協力してもらいたい。

14. その他

- ① 休会クラブ、会費未納クラブの進退について
 - ・ 遊目印塾（H20、H21 会費未納）・・・強制脱会
 - ・ 北港銀落会（H21 会費未納）・・・H22 は休会
 - ・ TEAM TOP GUN（H21 会費未納）・・・連絡をとる
 - ・ 黒夢会・・・進退伺い
 - ・ Team 波止歩° つ歩°・・・進退伺い
 - ・ V.F.C・・・進退伺い
- ② 現在の「関連」の活動について・・・現在の「関連」の活動は、どうしても大会開催が中心となっている。交流をしたいのだが、大会に参加出来ない人は、どうすれば良いか？

- ※ 各エリア理事が、そのエリアの情報担当者とし、クラブ間、個人間の窓口として交流を深めていく活動をする。
 - ※ 横の繋がりを広めるために、飲み会等を企画する。
- ③ 今後の「関連」の活動について（代表談）・・・・・・「関連」を設立した大きなテーマである「交流」は、ほぼ達成できたと思っている。
- ※ （代表談）維持して行く事の大変さもあるが、継続し続けていく事は、非常に重要であると思っている。当初「関連」は「交流」だけを考えていたが、現在、外部の位置づけは、ボランティア活動、役所との折衝等、多種多様に活動している。今後、もっと大きな事業を展開していくのは、非常に各人に負担が増えると思う。今のペースで活動して、今一度「交流」をより深めて行く事が、今後の「関連」の活動に成りえると思う。
- ④ 「関連」に功績を残したOBの処遇について・・・・・・「名誉会員」として名前を残す案もでたが、候補者から希望がないかぎり、無理に勧めない事とする。